

技能競技大会（ビルクリーニング）

かだい
課題2

だんせいゆかじむしょせいそう
弾性床事務所清掃

課題 2-1P

きょうぎじかん ぶん いない
競技時間：10分 以内

床の面積：16 m²（たて4m・横4m）

ゆかざい
床材： パネル^{ごうばん}合板

紙片ゴミ：約50 ミリットル（ひと握り）まく

◆ 事前の準備

ダスタークロスホルダーにダスタークロスを取り付けておく。

モップ柄^えの長さ^{なが}を、自身^{じしん}の肩^{かた}から耳^{みみ}の
間^{あいだ}で調整^{ちょうせい}する。

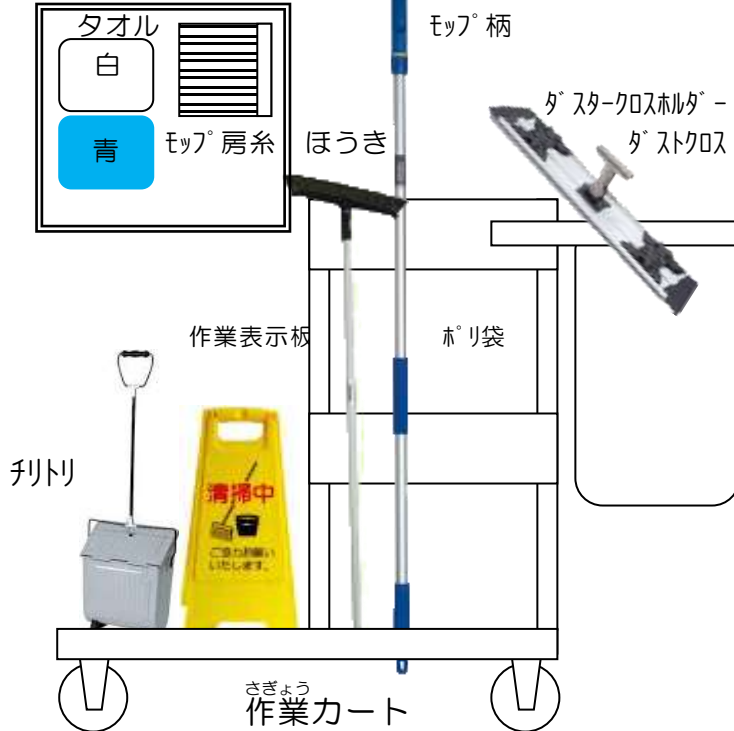
きょうぎ はい さい さぎょう
競技コートに入った際、作業カートに
セットする。

◇^{しょう}使用する^{どうぐ}道具

- 作業カート
- 作業表示板
- ダスタークロスホルダー
- ダストクロス
- ほうき
- チリトリ
- モップ柄
- モップ房糸(ラーク)
- タオル 濡れタオル(青)
- タオル 乾きタオル(白)
- ポリ袋

さぎょう 作業カートでの道具配備

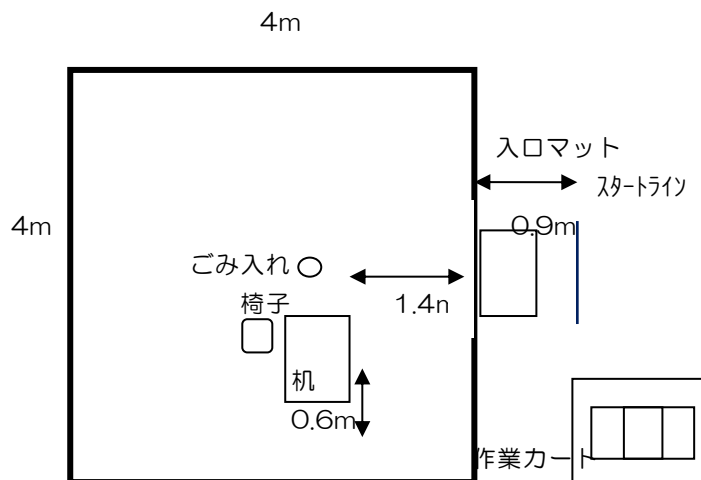
じょうだん なか
上段の中



◇ せつびとう
設備等

- ・サークル(枠)
- ・入口マット
- ・机
- ・椅子 (パイプ椅子)
- ・ごみ入れ

は い ち す
◇ 配置図



◇競技委員の「始め」の合図について

開始の申告を行う

スタート位置に立ち、片手を上げて「始めます」と開始の申告を行う。

◇作業準備

作業カートを前に出す。

作業表示板を立てる。

作業の邪魔にならない位置に立てる。



◇入室のあいさつをする

ポリ袋を持って、入室する。

「失礼いたします」と一礼して入室する。

◇作業準備及びゴミの収集

椅子を机の上にあげる。

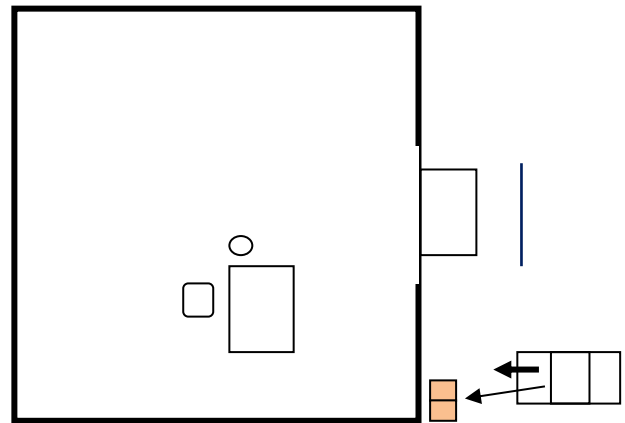
ごみ入れのゴミを収集する。

ポリ袋ごと取り除き、カートの集塵

袋に入れる。

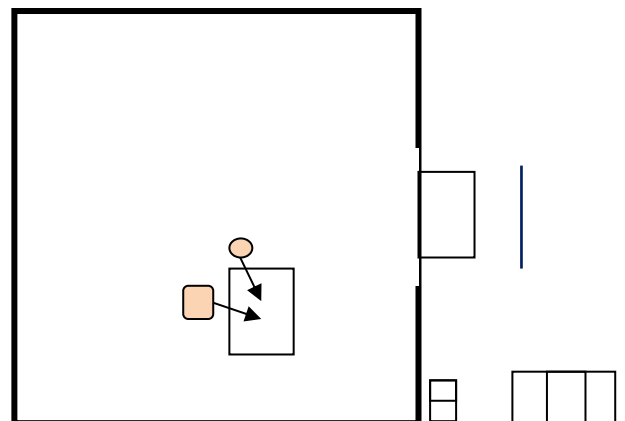
ごみ入れにスペアのポリ袋を被せる。

ごみ入れを机の上にあげる。



◆開始の申告、入室のあいさつははっきりと競技委員にわかるように行う。

◆作業カート、作業表示板は作業の邪魔にならない位置に準備する。



◆椅子が机からはみ出ないように置く。

(この間の手順は前後しても構いません。)

◇ダスタークロスによる掃き^は作^{さぎょう}業

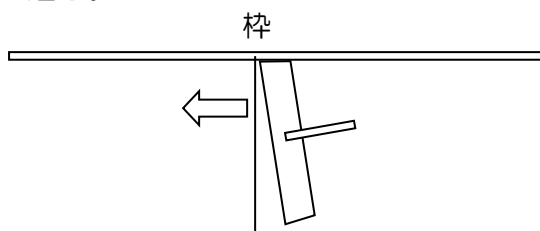
カートからダストクロスがついているホルダーとモップ柄を持ち、入口マットの上で取り付ける。

【モップ柄の持ち方】

上の手うえのて柄えの先端せんたんに親指おやゆびをにぎのせて握る。
 下の手したのて上うえの手から肩幅かたはばほどあけて下した
 を持つ。

【ホルダーの傾き】

わく　そ　　お　　ば　　わくがわ　すこ　さき
 枠に沿った押し掃きでは、枠側が少し先
 すす
 に進む。



さぎょう すす かた
【作業の進め方】

①～③ 枠^{わく}に沿^そって押^おし掃^ばきを行^{おこな}う。
ホルダーの傾きに注意する。

④～⑧ つくえ^{した}下、中央^{ちゅうおう}をS字^{えすじ}押し^おで
掃^はき進^{すす}み、一カ^{かしよ}所^はに掃^{あつ}き集^{あつ}める。

ホルダーからモップ^え柄^{はず}を外す。

クロスを外し、ゴミの付いている面を
内側にして折りたたむ。

ホルダーとモップ柄をカートに戻し、クロスをカートの収集袋に入れる。

【^はと^{かた}てんけん^{てんけん}掃き取り方・点検】

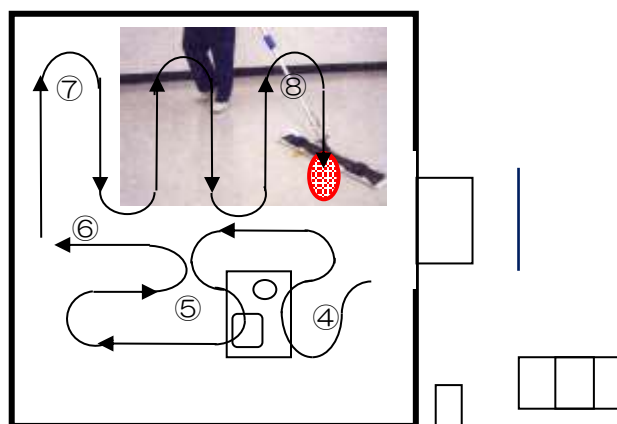
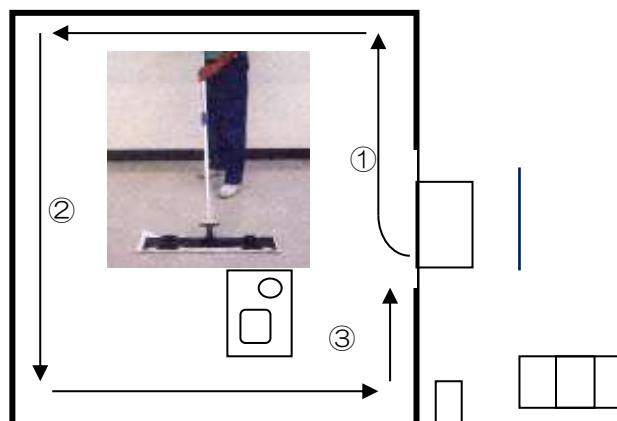
ほうきとチリトリを持って、ゴミの掃き取りを行う。

はあつ 掃き集めたゴミをチリトリにはと 掃き取る。

は のこ てんけん おこな
掃き残しがないか点検を行う。

ほうきとチリトリをカートに^{もと}戻す。

ダスタークロスによる押し^お掃^はきの掃^はき^{じゅんろ}順路



◆ホルダーの幅の広い方が前になります。



◆^{ぜんしんさぎょう}前進作業^はで掃く。

うえ あが
ゴミの上に上らない。

◆ダスタークロスの^{とりあつか}取扱い、^{はかた}掃き方。

お押し掃き、^{エス} S字押し^じの掃き^お方^はが^{かた}できる。

◆モップ柄、ほうき、チリトリは^え枠から^{わく}で出ない。

◆ゴミの掃き残^はし^{のこ}がない。

◆ゴミの^と取り^{かた}方。

毛先を扇型に動かし、ゴミをちり取りの中まで掃きこむ。

◇モップによる拭き作業

モップ房系とモップ柄を持っていき、
入口マットの上でセットする。

【モップ柄の持ち方】

上の手 柄の先端に親指をのせて握る。
下の手 上の手から肩幅ほどあけて下
を持つ。

【作業の進め方】

①～④ 枠に沿って押し拭きを行う。
枠の角は手を添えて拭く。

机の脚まわりを、手を添えて拭く。
モップ系が枠や机の脚に触れないよ
う、しっかり押さえて拭く。

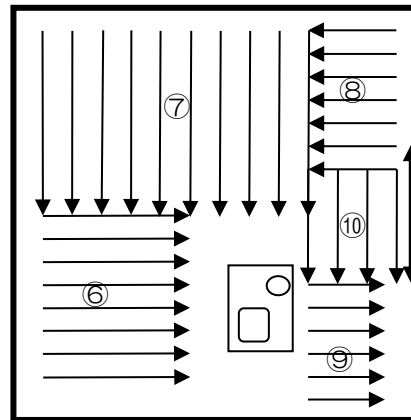
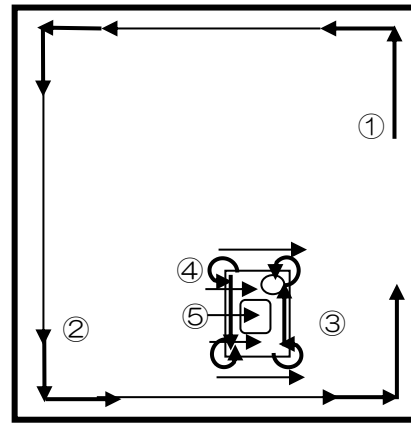
⑤ 机の両脇、机の下を縦拭きする。
(柄は縦拭きの持ち方で持つ)

⑥～⑩ 拭いたあとに上らないよう下
がりながら中央を拭く。

時々(向きを変えるごとに)モップを反
して使用する。

⑪ 入り口部分は、手を添えて拭く。
マットの上でモップ柄からモップ房系
をはずし、カートに戻す。

拭き作業の順路



◆後下がりです。

拭いた上に上らない。

◆拭き残しがない。

◆モップの取扱い、拭き方。

◆モップの房系は、枠、つくえの脚に出来るだ
け触れない。

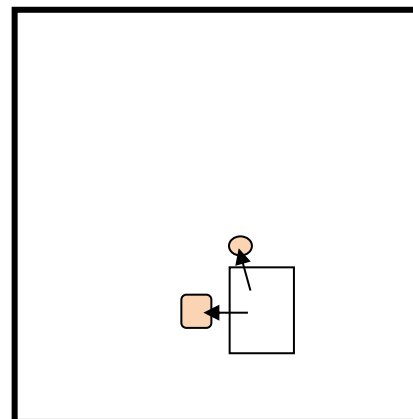
つくえ机の脚周り、枠のコーナーは手を添え
る。

◆モップ柄が枠から出ない。

◇椅子・ごみ入れのセット

椅子とごみ入れをつくえの上から下ろ
し、元の位置に置く。

椅子とごみ入れをつくえの上から下ろす。



◇つくえの上を拭く

みすふ よう あお
水拭き用の青いタオルでつくえを拭く。

かわきふ ようしろ
乾拭き用の白いタオルでつくえを拭く。

【タオルの持ち方】

タオルを八折りの大きさに持つ。

だんご ち
団子にならないように持つ。

【拭き方】

ふち へ
縁にそって拭く。

よこ ふ おこな
横拭きを行う。

たて ふ おこな
縦拭きを行う。

(みぎす さんこう
右図を参考にしてください。)

◇退室のあいさつをする

ぜんたい み さぎょう しあが てんけん おこな
全体を見て、作業の仕上りの点検を行う。

◇退室のあいさつをする

しつれい いちれい たいしつ
「失礼いたします」と一礼して退室する。

タオルをカートに^{もと}戻す。

タオルの持ち方

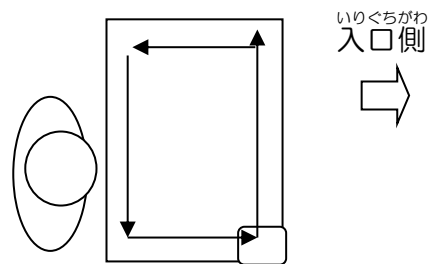


○

×^{にぎ}握らない

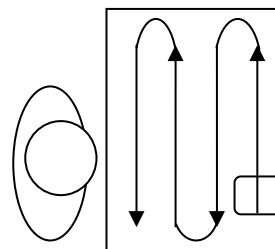
◇つくえの拭き方

①^{ふち}縁にそって拭く。



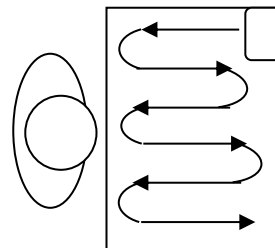
タオルを折り返し、^{あた}新しい面で拭く。

②^{よこ ふ}横拭きを行う。



タオルを折り返し、^{あた}新しい面で拭く。

③^{たて ふ}縦拭きを行う。



◆^お八つ折りにしたタオルで拭く。その^も持ち方。

◆^ふ拭き残しがない。

◆クロスで拭く。

◆^{つか}使った道具は^{もと}元に戻す。

課題 2 -6P

◇^{あとかたづ}後片付け

^{さぎょうひょうじばん}作業表示板をカートに^{もと}戻す。

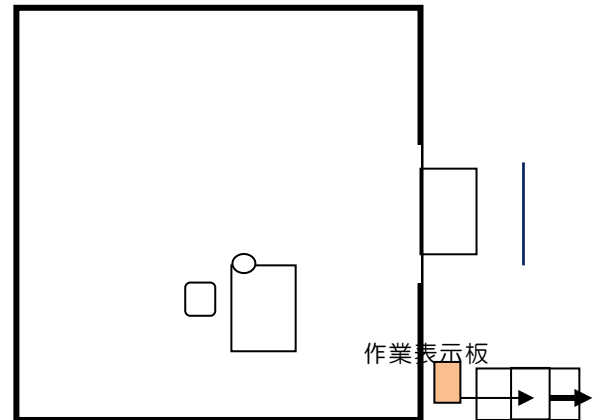
^{さぎょう}作業カートを保管場所^{もと}に戻す。

◇^{しゅうりょう しんこく}終了の申告

スタート^{いち た お}位置に立ち「終わりました」と

^{しゅうりょう しんこく おこな}終了の申告を行う。

^{さぎょうひょうじばん もと}作業表示板を戻す。
^{さぎょう もと}作業カートを戻す。



◆^{たいしつ}退室のあいさつ、^{しゅうりょう しんこく}終了の申告ははっきりと
^{きょうぎいいん おこな}競技委員にわかるように行う。